

(2)市民の安心をまもる学校における防災について

①学校における避難所運営について

1 令和元年東日本台風における避難所運営の課題

- ・市から学校への連絡が遅かった。
- ・事前に地震対応ではなく、水害についても市、町会、学校の三者で十分に打合せをしておく必要があるのではないか。
- ・鍵の場所など細かい点も事前に話し合っておく必要がある。
- ・市の職員が4～5名では足りないのではないか。
- ・垂直避難の場合、足の不自由な方の移動方法など対応の仕方も事前に検討しておく必要がある。
- ・避難した方々への情報提供のためテレビ等をどのように活用していくのか検討する必要がある。

2 今後の避難所運営の課題解決に向けて

「市職員」、「学校関係者(校長、教頭、主幹教諭又は教務主任)」、「町会・自治会」の3者による【避難所運営委員会】を設立し、平素から避難所運営に係る根幹の方法について、事前に調整する場を設けて、顔の見える関係を構築するとともに有事に備えた体制づくりを行う。

→【避難所運営委員会の設置】

3 避難所運営委員会構成(案) ※●●避難所(案)

避難所運営委員会

(案) 15人

- 運営リーダー ①
- 運営副リーダー ②
- 運営副リーダー ③
- 運営副リーダー ④
- 運営副リーダー ⑤
- 運営副リーダー ⑥
- 運営副リーダー ⑦
- 施設管理者 ⑧⑨⑩
- 市避難所担当職員 ⑪⑫⑬⑭⑮

避難所運営スタッフ

※今後各避難所毎に構成予定

各自主防災会員、地域団体、避難者など

- 総務班 避難者の誘導、ボランティア受け入れ
- 情報班 情報収集・伝達、問合せ対応
- 救護班 応急手当(軽度)、搬送補助
- 食料班 食料の受け入れ、配給、給水補助
- 物資班 物資の受け入れ配給
- 環境班 トイレ、ペット、ゴミ対応
- 市避難所担当職員 避難所の開設、市と連絡調整

4 今後のスケジュール(案)

- ・令和2年度、町会・自治会と調整。学校関係者及び市職員と顔合わせ実施。
- ・令和3年度から実施出来る避難所から順次設置予定。
- 設置後、避難所運営を視野に入れた訓練についても検討する。